

社団法人日本発達障害福祉連盟 2008（平成 20）年度事業計画

I 国際交流事業

1. 開発途上国支援事業

- 1) 第 3 回知的障害福祉コースの実施（国際協力機構委託事業）
- 2) 8 カ国～8 名を招き、日本および第三国において研修を行なう。
研修期間 5 月 26 日～8 月 2 日
- 3) 知的障害福祉コース研修・フォローアップ事業の実施
（国際協力機構委託事業）
 - ① 知的障害福祉コース帰国研修生のためのMLおよびHPの運営
- 4) カンボジア国カンボンスプーおよびカンボンチュアン地域で活動する障害者自助組織による知的障害児者支援事業への協力
地域生活と知的障害者支援の統合を図る事業への支援
（外務省補助事業）
- 5) ネパールの貧困女性支援グループによる知的障害者支援事業への協力

2. 国際交流

- 1) アジア知的障害連盟理事会参加（シンガポール）
11 月
シンガポールで開催される理事会に参加し、第 19 回アジア会議における本人参加促進を提言する。
- 2) JLDD Partnership Market の促進
・ 開発途上国の活動を支援するため、援助を含めて交流を求める人（機関）の紹介を行なう。
- 3) 国際協力機構在外機関への協力
在外機関が実施する発達障害者支援関連の事業への協力、相談業務を行なう。

II 関係団体の連携事業

1. 発達障害白書の 2009 年版の編集

「発達障害の 25 年を検証する」をテーマに編集し、日本文化科学社より出版する。

2. 関係団体によるラウンドテーブル会議の開催
関係諸団体および関係省庁間の意思疎通を目的としたラウンドテーブル会議を年に2-3回実施する。
3. JL ニュースの発行
隔月（69-74号）を発行し、関係団体（者）に配布する。
A4版 12ページ 4,000部
4. 福祉月間の実施
第45回福祉月間を9月に実施する。
また、中央集会として「発達障害の25年を検証する」をテーマに、東京でシンポジウムを開催する。
5. ホーム・ページの運営
福祉連盟ホーム・ページを運営し、情報の発信に努める。

Ⅲ 研究・啓発事業

1. 発達障害医学セミナーの開催
150名の定員で東京にて開催予定。日程・場所は未定
2. 発達障害自閉症セミナーの開催
150名の定員で東京にて開催予定。日程・場所は未定
3. 「特別な支援を必要とする子が増えている！—特別支援学校入学者が増える訳—」
ついてに関するセミナーの開催
150名の定員にて東京にて開催予定。日程・場所は未定
4. 研究事業「発達障害児の保護者のメンタルヘルス 第2年次」
を実施する。
(福祉医療機構補助事業)
5. 研究事業 「発達障害をもつ子供のトータルな医療・福祉・教育サービスの構築」を実施
する。
(厚生労働省 障害者自立支援調査研究プロジェクト)
6. 資料の作成・提供
 - 1) 小冊子、書籍等の作成・提供

本年度新規作成

発達障害医学の進歩 20

既 成

発達障害とその支援 (DVD)

発達障害訓練ハンドブック 1-4、発達障害医学の進歩
1-19、知的障害の定義 (Mental Retardation :
Definition, Classification, and System of
Supports-AAMR 10th Edition)、不平等な命 2、やさ
しい隣人達、レッツ・スポーツ、同名VTR、知的障
害のQOL-21カ国の国際比較一上・下巻、就労支援
マニュアル、美沙のポエム

2) 関係図書を紹介

発達障害の臨床、発達障害の基礎、実践精神医学講義

IV. その他の事業

1. 組織の運営・強化

- 1) 正会員の拡大
- 2) 準正会員制度を新設し、会員を募集する。
- 3) 賛助会員の拡大
- 4) 総会・理事会の開催
- 5) 各種委員会の開催

企画委員会 (会員拡大、広報、福祉月間、出版など)、発達障害白書編集員
会、発達障害児の保護者のメンタルヘルス研究委員会、**発達障害をもつ子供
のトータルな医療・福祉・教育サービスの構築研究委員会**、知的障害福祉コース
企画委員会、ラウンドテーブル会議企画委員会